

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 66 号

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成 27 年 12 月 25 日

書き初め

岐阜県・正覺寺住職
妙心寺派布教師

足立宜了師

お正月の風物詩の一つに「書き初め」があります。こうした古来からの日本の風習に、新春の心新たな抱負を墨痕鮮やかにしたためるといふ心意気のようなものを感じます。

筆離れの昨今では、なかなか得難い機会となつてしまいました。が、せめてパソコンのキーボードを叩きながらも、この一年の自らの方向性というものを見つめてみたいものだと思います。

お節料理に飽きた頃、欲する味

のひとつにお漬け物をあげてみたい。寒い地域のそれは、これまた格別なものです。童謡作家のまどみちおさんの詩があります。

つけもののおもしは

あれはいつたい何をしているんだらう

あそんでいるようで

はたらいっているようで

もの言わぬ漬け物石には飾ることのない淡々とした使命があつたのです。白菜や大根を美味しい漬け



「油断大敵」 妙心僧堂師家 雪丸令敏老大師

み たいてき しばら ゆだん
身は大敵なり。暫くも油断することなかれ。（至道無難）

※自分の身体こそが自分にとって思いもかけぬ大敵であるから油断をしてはならない。（西村恵信師）。至道無難（1603～1676）は江戸時代初期の臨済宗僧侶

物にするという使命です。味わい深い詩だと思いました。

暫く世話になつていた道場の師匠を新年の挨拶に訪ねたときのことです。師匠は挨拶もそこそこに私の顔を見るなり開口一番、

「毎日、何しとる」

と訊ねられました。いきなりの問いかけに度肝を抜かれた私は、ぐうの音も出ません。

「はて、わしは何をしているんだらう」

忙しい忙しいが口癖のようになっていながら、その答えが見つからない。そのとき思い出されたのが先程のまどさんの詩だったので。『わしは漬け物のおもしろいも劣っているなあ』と情けなくなるばかりでした。

禅問答という言葉があります。

この師匠と弟子との受け答えで一番肝心なことは、即答できるか否かにあると痛感しました。いつも心に目標を掲げていないと、悪戯に右往左往と迷うばかり。根無し草のようなありさまを一言で師匠は指摘していただけたのです。

（妙心寺派ホームページ「今月の法話」より）

大本山妙心寺へ団体参拝に行ってきました

松禪寺・桂昌寺の檀信徒総勢33名が参加、普茶料理も満喫

10月18日(日)、松禪寺・桂昌寺合同で大本山妙心寺へ団体参拝してきました。最高気温28度にもなるうかという好天気恵まれ、総勢33名は気持ちの良いお参りができました。また、今回は半数近くが女性で占められるとともに、初めて妙心寺へお参りするという方もあり、この機会に一緒にお参りできたことをうれしく思いました。

新車の全但バスに乗って気分も上々、午前10時前には花園会館に到着しました。休憩後、



山陰東部第2部 松禪寺・桂昌寺花園会 大本山妙心寺参拝記念 平成27年10月18日 微妙殿

案内の和尚様に従ってまずは開山堂へお参りしました。続いて法堂では天井の龍を見上げながらの見学、国宝の鐘楼を見て、大庫裡を拝観しました。歩くのは少々難儀という方には、兵庫教区から妙心寺派へ寄贈された「おかげさま号」がありますので、どうぞ遠慮せず団体参拝にご参加ください。

午前11時には微妙殿という建物に入り、他の団体参拝の皆さんと一緒に法要に臨みました。

山内は龍泉庵の老大師ご導師により法要は執り行われ、事前に特別塔婆供養を申し込まれていた方々のご先祖さまも読み上げられ手を合わせました。

法要後は微妙殿で記念写真を撮り、希望され



▲暑いぐらいの快晴でした＝妙心寺山内(柴田巧氏撮影)



▲歩くのは難儀という方には「おかげさま号」で

た皆さんにお買い上げいただくとともに、玄関外で撮影した写真は全員にお配りしました。良き思い出の一枚となれば幸いです。

お参りを終えて昼食のために京都市北区にある黄檗宗・閑臥庵へ向かいました。ここで中国風の精進料理である普茶料理をいただきました。10年前の団体参拝でも食事をしていましたが、今回は初めての方も多く、色とりどりの美しい料理に時間を忘れて楽しみました。

食事後は錦市場まで移動して、買い物やお茶を飲んだりときまざまに京都を楽しみました。帰路についたバスの中ではお酒も入り、いろいろな話に花が咲いた和やかなひとときとなりました。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。次回も一緒にお参りできることを楽しみにしております。



▲天井画の龍が見事な法堂（はっとう）



▲普茶料理をいただいた閑臥庵＝京都市北区



▲参拝者全員で読経、焼香しました



▲午後はビデオ鑑賞、専門道場での修行記録を見ました。



▲団参法要の会場である微妙殿（みみょうでん）で記念撮影

達磨忌と開基・開山忌を執行 午後にはビデオ鑑賞も

禅宗の開祖・達磨大師の遺徳を讃える達磨忌と、松禪寺を開いた開基及び勧請開山さまの法要を、11月3日に執り行いました。檀家さん方約25名のお参りをいただき、ともに読経して勤めました。法要後は当番さん方が朝早くから調理していただいた茶めし、けんちん汁、ふろふき大根、白和えをいただきました。野菜たっぷりのヘルシーな食事で、けんちん汁のおかわりの声も聞かれ、和やかな一時となりました。

食事が終わって、次は臘八大攝心を収録した『禅の世界〜悟りへの道』をみんなで鑑賞、感嘆の声が聞かれました。



▲お供えした同じ料理をいただきました

草刈りの障害となる 残木を処理しました

今年は年二回、総代、評議員や有志によって、境内の清掃を行っていただきました。その際、庫裡裏側の山手に放置された残木が草刈りの障害になることから、11月1日の午前から総代さん方4人がその処理活動を行いました。長期予報では雨でしたが、快晴となり絶好の作業日となりました。冗談を言いつつ、複数人で行う作業は楽しいものです。ほぼ午前中に作業も終わり、最後は二人がかりで境内の松の切り株を切ってもらいました。この作業で来年の草刈りは障害もなく、スムーズに行われると思います。



▲庫裡の裏手の清掃に励む総代さんたち。快晴に恵まれて作業も順調に行われました。＝11月1日

除夜の鐘をつきましょう

行く年くる年、大晦日はお寺で除夜の鐘を撞きませんか。

除夜とは、除日の夜といい、旧年を除く日といえます。その夜に鳴らす「除夜の鐘」は、年を越すにあたり人の心にある百八つの煩惱を清らかな鐘の響きで鎮め、新しい気持ちで新年を迎えようとする仏事の一つです。

12月31日（木）の午後11時45分頃から撞き始める予定です。本堂、薬師堂へのお参りもできます。温かい飲み物なども用意していますので、ぜひお参りください。

お願いとお知らせ

◎新年度の評議員について

◇松禪寺花園会の評議員14名については、一年で交代される地区が多いのですが、新たに評議員となられた方のお名前の報告を速やかにお願います。評議員総会は、1月下旬から2月中旬までの間に開催します。

◎年頭について

正月2日（土）より年頭に各檀家さん宅を伺います。2日は但東町内を、それ以外は3日（日）に回ります。なお、遠方の檀信徒皆さまには、祈祷札などは郵送いたしますので、悪しからずご了承ください。

平成28年度 年忌法要

平成28年（2016）に年忌法要を迎える故人の歿年度は、次のとおりです。法要の実施日については、なるべく早めにご連絡ください。年忌正当年にあたるご先祖様がおられるかの確認は、寺へ電話でお尋ねください。

【平成28年度年回表】

●一周忌	平成27年歿
●三回忌	平成26年歿
●七回忌	平成22年歿
●十三回忌	平成16年歿
●十七回忌	平成12年歿
●二十五回忌	平成4年歿
●三十三回忌	昭和59年歿
●五十回忌	昭和42年歿
●百回忌	大正6年歿

るか、年忌繰出を本堂に貼り出していますので、寺にお越しの際にご覧ください。また、年明けには個別に通知を差し上げます。